

# 大学院特別講義

## 演題：微生物資源からの創薬アプローチ — 企業研究者としてのお話 —

講師：市村 通朗 先生

協和メデックス研究所・所長

日時：平成23年7月12日（火） 14:30～16:00

場所：小講堂

対象：大学院生、学部生、教職員

概要：微生物資源（代謝物）からスクリーニング（SCR）するという創薬手法については、近年多くの企業が縮小、撤退して来た。一方、大規模ケミカルライブラリーを高速で SCR する HTS は当たり前となった。さらに SBDD や *in silico* SCR の技術革新も目覚ましい。しかし、この約10年程、新薬として承認された医薬品数は減少している。このような状況下でも、微生物資源は非常に重要な創薬資源であると考えます。良く言われることであるが、これら代謝物は思いもよらない構造を提供したり、特異的でかつ低濃度で生物活性を発現することがある。合わせてケミカルバイオロジーの進展から、細胞レベルで有用な活性を持つ代謝物の発見が、新たな標的分子の発掘や認識に繋がる事例が多く出て来た。本セミナーでは、微生物資源からの具体的事例として、我々が見出した「新クラス Hsp90 阻害薬（抗がん剤探索）」、「成体神経幹細胞増殖促進薬 Vinigrol（神経変性疾患治療薬探索）」についてお話したい。また私自身経験が浅いが、診断薬という観点で、いわゆる「個の医療」を目指したコンパニオン診断薬について抗体医薬を中心に少しお話したい。

創薬探索特論の履修者は必ず受講して下さい。

静岡県立大学大学院薬学研究科

創薬探索センター 浅井 章良

電話：054-264-5231

E-mail: aasai@u-shizuoka-ken.ac.jp